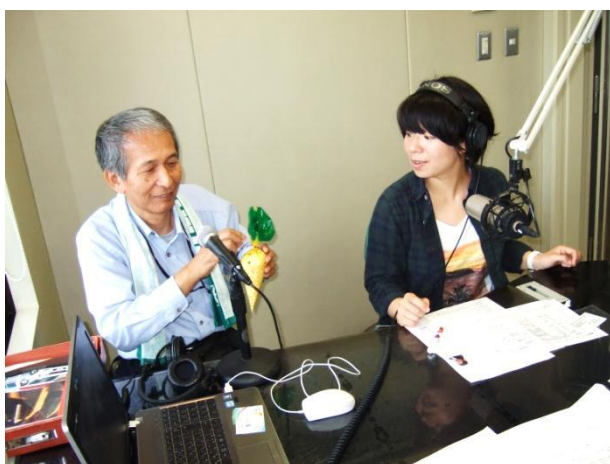


市民活動を FM ラジオで発信！！

『つなげよう！市民のチカラ！』

- 第2回：2015年6月28日（日）
- ゲスト：Fireman 代表 古川 昭さん
- 放送内容

「『ポン菓子（津軽弁でどん）』で子どもからお年寄りまでたくさんの人を笑顔に、元気にしよう！」をモットーに、東日本大震災の被災地や市内の小学校、幼稚園、施設等で積極的に展開するボランティア活動を紹介してくださいました。



Fireman 代表の古川さん（左）。
お手製のポン菓子を紹介。

「お年寄りや子どもを楽しませたいという思いで始めました。お年寄りにとっては昔のことでも子どもたちには新鮮。『どん』には、懐かしさと新しさ、両方の魅力があります。」

東日本大震災の被災地応援のため、消防団有志で立ち上げたボランティアグループ・Fireman。元々、亀甲町消防団では年1回、12月24日（クリスマス・イブ）に「サンタクロース」として子どもたちにプレゼントを届ける活動を展開。「年1回だけではなく、消防団（ファイアーマン）として何か喜んでもらえる社会貢献活動はないかと話し合ったところ、『どん』に行き着きました（古川さん）」。

「一番うれしいのは最初怖がっていた子どもたちが、爆発の後にできたポン菓子を見て喜ぶ瞬間。市内でもまだ行っていない施設や保育園・幼稚園を1つでも多く訪問するというのが今年の目標です。」

現在も県外被災地での活動を続けている Fireman。古川さんは「これからも被災地訪問を続けながら、自分たちの活動を楽しそうだなとってくれる人からのオーダーにはできるだけ応えていきたいです」。